

# CLIを使用したスイッチでのBonjour設定

## 目的

Bonjourは、同じネットワーク上のデバイスが追加設定なしで互いを検出して接続できるようにするAppleのテクノロジーです。最新のCisco Small Businessスイッチは、提供するサービスをアドバタイズするBonjour Discoveryパケットをブロードキャストできます。これらのアドバタイズメントは、ネットワーク管理ツールやサードパーティアプリケーションなど、ネットワーク上の他のデバイスで読み取ることができます。

このドキュメントの目的は、スイッチのコマンドラインインターフェイス(CLI)を使用してBonjour設定を設定する方法を示すことです。

## 適用可能なデバイス

- Sx350 シリーズ
- SG350X シリーズ
- Sx550X シリーズ

## [Software Version]

- 2.3.5.63

## Bonjour設定の設定

ステップ 1 : スwitchのコンソールにログインします。デフォルトのユーザー名とパスワードは、cisco/cisco です。新しいユーザー名またはパスワードを設定している場合は、代わりにそのログイン情報を入力します。

注 : SSHまたはTelnetを使用してSMBスイッチのCLIにアクセスする方法については、[ここ](#)をクリックしてください。

```
[User Name:cisco
```

```
[Password:*****
```

注：コマンドは、スイッチのモデルによって異なる場合があります。この例では、Telnet を介して SG350X スイッチにアクセスします。

ステップ 2：スイッチの特権EXECモードから、次のように入力してグローバルコンフィギュレーションモードに入ります。

```
SG350X#configure
```

ステップ 3：スイッチでBonjourをグローバルに有効にするには、次のように入力します。

```
SG350X(config)#bonjour enable
```

```
[SG350X#configure  
[SG350X(config)#bonjour enable  
SG350X(config)#
```

注：この機能はデフォルトで有効になっています。

ステップ4: ( オプション ) スイッチでBonjourをグローバルに無効にするには、次のように入力します。

```
SG350X(config)#no bonjour enable
```

注： Bonjourが無効の場合、スイッチはBonjour Discoveryアドバタイズメントの送信を停止し、他のデバイスから送信されたBonjour Discoveryアドバタイズメントのリッスンを停止します。

ステップ 5： L2インターフェイスをBonjour L2インターフェイスリストに追加するには、次のように入力します。

```
SG350X(config)#bonjour interface range [interface-list]
```

- interface-list： インターフェイスのリストを指定します。L2マルチキャスト転送をサポートするインターフェイスのみを指定できます。

注： Bonjour L2インターフェイスリストは、 Bonjourが有効になっているインターフェイスのセットを指定します。

```
SG350X#configure
SG350X(config)#bonjour enable
SG350X(config)#bonjour interface range VLAN 10-20
SG350X(config)#
```

注： この例では、VLAN 10-20がBonjour L2インターフェイスリストに追加されます。

手順 6： exitコマンドを入力して、スイッチの特権EXECモードに戻ります。

```
SG350X(config)#exit
```

```
SG350X#configure
SG350X(config)#bonjour enable
SG350X(config)#bonjour interface range VLAN 10-20
SG350X(config)#exit
SG350X#
```

ステップ7: ( オプション ) スイッチにBonjour情報を表示するには、次のように入力します。

```
SG350X#show bonjour [interface-id]
```

- interface-list : インターフェイスを指定します。

```
SG350X(config)#exit
SG350X#show bonjour
Bonjour global status: enabled
Bonjour L2 interfaces list:
ports gi1/0/5
vlans 1,10-20

Service      Admin Status      Oper Status
-----
cisco-sb    enabled           enabled
http        enabled           enabled
https       enabled           enabled
ssh         enabled           enabled
telnet      enabled           enabled

SG350X#
```

ステップ8: ( オプション ) スイッチの特権EXECモードで、次のように入力して、設定をスタートアップコンフィギュレーションファイルに保存します。

```
SG350X#copy running-config startup-config
```

```
[SG350X#copy running-config startup-config  
Overwrite file [startup-config]... (Y/N)[N] ?
```

ステップ9: ( オプション ) Overwrite file [startup-config]...プロンプトが表示されたら、キーボードでYを押してYesを指定するか、Nを押してNoを指定します。

```
SG350X#copy running-config startup-config  
Overwrite file [startup-config]... (Y/N)[N] ?Y  
22-Sep-2017 04:09:18 %COPY-1-FILECOPY: Files Copy - source URL running-config des  
tination URL flash://system/configuration/startup-config  
22-Sep-2017 04:09:20 %COPY-N-TRAP: The copy operation was completed successfully  
SG350X#
```

これで、CLIを使用してスイッチのBonjour設定を正しく設定できました。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。